

三黄瀉心湯は、「金匱要略」を原典とする、高血圧の随伴症状等に用いられる漢方薬です。

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - (5) だらだら出血が長びいている人。
 - (6) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください
 - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
消化器	悪心・嘔吐，食欲不振，胃部不快感，はげしい腹痛を伴う下痢，腹痛
皮膚	発疹・発赤，かゆみ

(2) 1カ月位（鼻血に服用する場合には5～6回，痔出血・便秘に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくならない場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください
下痢

効能・効果

比較的体力があり、のぼせ気味で、顔面紅潮し、精神不安で、便秘の傾向があるものの次の諸症：高血圧の随伴症状（のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安）、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症

成分と分量

1包（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

成 分	ダイオウ	オウゴン	オウレン
分 量	2.0g	1.0g	1.0g

用法・用量

本品1包を和紙袋入りのまま、水約500mLを加えて、半量ぐらいまで煎じつめ、和紙袋とともに煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用してください。

上記は大人の1日量です。

年 齢	大人（15才以上）	14才～7才	6才～4才	4才未満
服用量	上記の通り	大人の2/3	大人の1/2	服用しないこと
1日服用回数	3回			

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこしてください。
- (4) 本剤は必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用してください
- (5) 生薬を原料として製造していますので、製品の色や味等に多少の差異を生じることがあります。